

製品名: リン酸化 4E-BP1 (Ser65) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMM81829

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	12.6kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-4E-BP1 (Ser65)
別名	EIF4EBP1; BP-1; 4EBP1; 4E-BP1; PHAS-I
遺伝子 ID	1978.0
SwissProt ID	Q13541
免疫原	ヒト Phospho-4E-BP1 (Ser65) の合成ペプチド。

背景

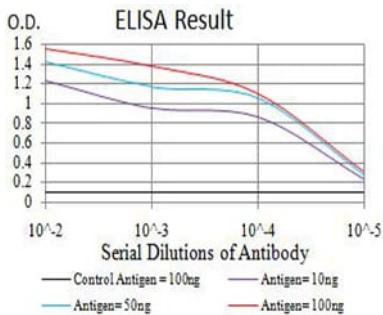
この遺伝子は、翻訳抑制タンパク質ファミリーの一員をコードしています。このタンパク質は、真核生物翻訳開始因子 4E (eIF4E) と直接相互作用します。eIF4E は、40S リボソームサブユニットを mRNA の 5'末端にリクルートする多サブユニット複合体の制限因子

です。このタンパク質と eIF4E の相互作用は、複合体の組み立てを阻害し、翻訳を抑制します。このタンパク質は、紫外線照射やインスリンシグナル伝達などの様々なシグナルにตอบสนองしてリン酸化され、eIF4E から解離して mRNA の翻訳を活性化します。

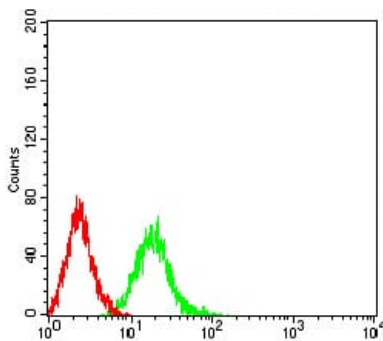
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

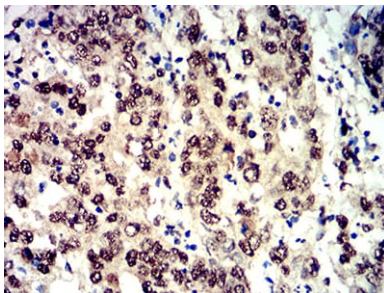
画像データ



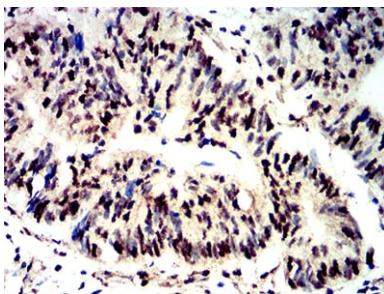
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。